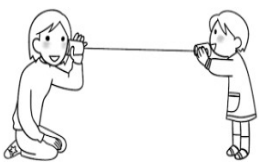


学年目標『高め合い・つながる学年にしよう！』

糸でんわ



修学旅行のふりかえり

修学旅行は、大きな事故や怪我もなく、全員無事に帰って来られました。それは、日常から自分で判断すること、まわりの仲間と一緒に行動すること、時間を守ることを大切にしてきた学年だから、安全に3日間を過ごすことができました。

1日目、新幹線の停車時間は約2分でした。事前にホームでの並び方を練習したおかげで、安全にスムーズに乗車ができたことに感心しました。通常ダイヤではない臨時ダイヤのため、ほぼ貸し切り状態の新幹線にテンションが上がり、お菓子とトランプの時間が始まると、さらにテンションは上がって大盛り上がりになりました。

博多駅から佐賀県の鹿島まで、バスガイドの説明を聞いていると、あっという間に着きました。雄大な有明海を見ながらお弁当を食べ、ガタリンピック体験をしました。初めは、少し嫌な気持ちだった人も、いざ干潟に足を入れると、感じたこともない感触に悲鳴を上げ、一度、服に泥がつくと、次は顔に泥を塗り、30分後には誰が誰だかわからないくらい全身泥だらけになりました。

夕方、長崎市内の稲佐山観光ホテルに到着。すぐにお風呂に入り、結婚式場のような大広間でおいしい夕食を食べました。夕食後、部屋からみえる「世界新三大夜景」（香港・長崎・モナコ）に認定された長崎市内の夜景に感動しました。そして、1日目の夜は、景品のお菓子をかけて、各クラスで楽しくレクリエーションをして就寝しました。

2日目、早い人は5時くらいからベランダに出て、気持ち良い朝日を浴びていました。午前中は、班で事前に計画を立てたルートに沿って長崎市内を散策しました。歴史の授業で習った出島や大浦天主堂などを回り、お土産のカステラの種類があまりにも多く、迷いながらも楽しく買っていました。午後は、長崎の原爆の恐ろしさや悲惨さを改めて学び、ガイドの方の説明にも真剣に耳を傾けていました。2日目の宿に着くと、1日目のホテルとは雰囲気が変わり、アットホームな雰囲気、クラスや班の距離はずっと縮まりました。ゆったりとした雰囲気、夕食と入浴を終え、クラスミーティングは、今の段階で言える自分の思いを真剣に語ることができました。

3日目の最終日は、朝から曇り空で、ペーロン体験をする牧島に着いた頃には、残念なことに雨が降り出しました。肌寒い中の体験になりましたが、太鼓に合わせて、大きな掛け声でみるみるうちに楳（かい）を漕ぐスピードが上がり、どのクラスのペーロンも爽快に波を切っていました。

小倉駅までの帰りのバスの中は、気がつけばシーンとなり、疲れてぐっすり寝ていました。修学旅行で縮まった仲間との距離、さらに強くなったクラスの絆を大切に、さらに良い雰囲気、学年集団にしましょう。

長崎平和学習 ～福山雅治の「クスノキ」～

- 片足だけの鳥居やクスノキがどんな様子で立っているのかを考えられた。ゆっくりとした曲調だったので、戦争や原爆にあっても強く生きような力強さを感じ、戦争を許さない思いがあると思った。
- 少子高齢化が進み、実際に被爆した方や戦争を経験した方が亡くなっていく中で、どれだけ戦争の恐ろしさや怖さ、被害の大きさを次の世代に残っていくかが、とても大切なことだと私は思いました。また、核兵器による実験が続いている国は、まだまだたくさんあると思うので、私たちの住む日本だけでなく、他の国へも伝えていかなければならないと思います。
- この日本に原爆が落ちたことを知らない子どもや外国の人々に思いや酷さ、恐ろしさを伝えて、一人ひとりがこの事実を知って、受け止める必要があると思う。今、自分たちが出来る小さなことは、ケンカや言い争いなどを、強さや力で終わらせないで、きちんと話し合うことだと思う。

修学旅行のふりかえり （一部抜粋）

- 3日間の中で一番印象に残っているのは、2日目の分宿です。ご飯はとて多くて、食べるのに時間がかかったけど、おいしかったです。お風呂上がりに友だちとイッキ飲みしたコーヒー牛乳がとても美味しかったです。1つの部屋に10人ぐらい集まって、UNOをしたのがとても楽しかったです。
- クラスミーティングを通じて、今までは「この子は悩みがない」と思っていた子も、実は受験について深く悩んでいた、自分と同じ悩みがあると知れました。あまり話をしたことがなかった子だったけど、修学旅行を機に話してみたいなと思ったし、相談し合える仲にまでなりたいと思いました。
- 全然話したことの無い人と同じ部屋で、不安だったけれど、一緒に楽しく過ごせたのは、話しかけてくれた友だちの優しさだと思いました。
- ガタリンピックは、最初は泥まみれになることに抵抗があったけれど、1回泥がついてしまえば、逆に汚れなくなった。
- ペーロン体験は、なかなか息を合わせるのが難しく、残念ながら結果を残すことはできませんでした。だけど、クラスが大切にしていかなければならない部分として、新しく1つ見つかったと思います。
- 班別行動は、グラバー園に行きました。園内を回るのが楽しかったです。花がたくさん植えられていて、とてもきれいでした。班でお土産を買う時は、なかなか決めることが出来なくて、時間がかかったけれど、長崎の有名な食べ物をたくさんかえて良かったし、家族にもお土産をとて喜んでもらえてうれしかったです。
- クラスミーティングは、思いなどがしっかりとみんなで伝え合えることができて、その時の空気もとても良かったです。
- 稲佐山観光ホテルから見える夜景がとれもきれいでした。友だちと合計で1時間は見ていた気がします。